

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	不定期
授業科目	地域・在宅看護援助論 I						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義
担当教員	東 直子						
授業目的	自助と互助を推進するための健康の保持増進・疾病予防に関わる看護を学ぶ						
中核	健康と暮らしを支える看護						
授業目標	1. 自助と互助において必要とされる看護の役割を知る。 2. 健康の保持増進・疾病予防に関する概念を理解する。 3. 健康の保持増進・疾病予防に必要な看護技術を習得する。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	自助と互助で求められる看護の役割 各発達段階の健康課題と保健行動	講義	2			
	2	自己効力理論と健康行動理論 行動変容に必要な働きかけ	講義	2			
	3	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)ポピュレーションアプローチ	講義	2	小テスト		
	4	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)テーマ選定、企画書作成	GW	2			
	5	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)指導案、媒体作成	GW	2			
	6	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)媒体作成、シナリオ作成	GW	2			
	7	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)デモンストレーション	GW	2			
	8	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)媒体仕上げ、シナリオ修正	GW	2			
	9	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)実践	演習	2			
	10	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)実践	演習	2			
	11	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (集団に対する健康支援)実践、報告書作成	演習・GW	2			
	12	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (個人に対する健康支援)ハイリスクアプローチ	講義	2			
	13	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (個人に対する健康支援)指導案作成、媒体作成	個人W	2			
	14	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (個人に対する健康支援)媒体作成、指導資料作成	個人W	2			
	15	健康の保持増進・疾病予防に関連した看護技術 (個人に対する健康支援)ロールプレイ、報告書作成	演習・個人W	2			
課題等	各授業ごとにリフレクションシートを提出 集団指導と個人指導における企画書、指導案、報告書を指定時に提出						
評価計画方法	小テスト10%、課題評価(リフレクションシート、企画書・指導案・報告書)40% ・演習態度等(演習に対する取り組み、媒体作成、実践)50%						
テキスト参考図書	河原加代子他著：専門分野 地域・在宅看護論Ⅱ【電子版】，医学書院 参考) 医療情報科学研究所：公衆衛生がみえる，メディックメディア						
実務歴有	看護師・保健師：病院・企業勤務 9年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	病院・企業における実務経験をもとに、地域の理解をとおして対象者の生活と健康を関連付けて考えられるように講義を展開する。						
備考	ポートフォリオ用のクリアファイル等は各自準備すること						